

グランプリ東北(CVG東北)

つなぐ!国産ビールプロジェクト



現在、国内では農地の減少が進んでおり、食料自給率も低下しています。農地減少の背景には担い手の不足や高齢化があり、2030年には基幹的農業者数が現在と比較して約50万人(37%)減少するとも言われています。このような状況で農地を維持していくには、

地域資源 最大限に生かす



は、1人当たりの管理面積を向上させていく必要がある。それに、相応の需要が見込める作物を普及しなくてはならない。

そこで本事業プランでは、ビールの主原料となる二条大麦の国産化によって、農地保全と農業所得の向上を実現する。また、単純に国産化するだけでなく、地域のブルワリー、農家と連携した組合を形成し、原料生産から商品設計、販売まで一括化することで出口の確保やビールの品質向上、供給量の調整などを図る。さらに自治体と連携し、空き校舎をビール麦の保管、加工設備として活用し、地域資源を最大限に生かすことを目指す。

最優秀賞

岩手大学

佐藤 稜

坂下 舞桜

佐藤 日向子

佐藤 基

後藤 優幹

山端 脩暉

CVG全国大会に出場

最優秀賞に佐藤稜さんら

東北6県の学生によるビジネスプランコンテスト。今回は大学・高専・高校専攻科10校から22件のエントリーがあり、うち8校から19プランを受け付けた。書類審査で特に評価された5組が最終審査に進出。審査会当日は各組の代表者やグループが登場し、7

分間のプレゼンテーションと8分間の質疑応答に臨んだ。産官の各界から集まった審査委員8人がそれぞれのプランを専門家の目で厳しくも温かく評価した。

最優秀賞には岩手大学・佐藤さんらの「つなぐ!国産ビールプロジェクト」を選出された。空き校舎を加工施設に転用するなど地域に根ざした事業活動も高く評価された。佐藤さんは2月3日に東京で開催された全国大会にも出場した。



産官から8人の審査委員が集まり、専門家の厳しくも優しい目でプランを評価した

特別賞・東北経済産業局長賞

東北大学大学院

関西大学

筑波大学

横浜 希

西川 岬希

三宅 健太郎

恋愛シミュレーションゲーム型マッチングアプリ「みんな♡らぶ」

近年、恋愛マッチングアプリを用いた出会いが一般化している。しかし、従来のマッチングアプリはマッチングする際に、写真・プロフィール文章など、表面上の情報のみが重視されている。そのため、相手に十分に興味が無い状態でマッチングが行われるため、マッチングアプリ疲れを感じる人が多く、その数は利用者の約8割に及ぶという調査結果もある。

そこで、私たちは内面性を重視したマッチングアプリ「みんな♡らぶ」を提案する。「みんな♡らぶ」とは、実在する人物の人生をゲームという形で追体験させ、疑似恋愛を通してマッチングをするリアル版恋愛シミュレーションゲームである。

実在する人物の人生を追体験

現在、提案者である横浜希を主人公にした「みんな♡らぶ」をリリースしている。今後はサービスとしてリリースすることを目標に、開発や市場調査を精力的に進めていく予定だ。



ごあいさつ

第18回目を迎えた本大会には、東北各地の大学・高専、高校専攻科から計22件のエントリーがあり、昨年12月開催の最終審査会にて、岩手大学・佐藤さんらの最優秀賞を受賞をはじめ計7件の入賞者が決定しました。心よりお祝いを申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響は3年にも及んでいます。学生の皆さんは生活の大半をコロナ禍の制約下で過ごし、暮らしのあり方にも大きな変化をもたらしています。また、国内外の最新の情報がどこでも得られ、自らのアイデアや起業プランを社会に訴え、周囲を巻き込んでいくことの意義は非常に大きいものがあります。

現在、世界の潮流の中でわが国においても、DX(デジタル・トランスフォーメーション)やGX(グリーン・トランスフォーメーション)などの社会実装が求められ、これらを加速する環境整備も待たないとなつております。東北はデジタル技術活用を取り組みが

起業家・イノベーター目指し飛躍を

遅れており、またスタートアップやユニコーンといった成長性の高い企業を生み出す起業、そして新規市場も少ないといわれています。こうした現状を打破するべく、行政や各経済団体、大学など産官学を挙げた支援事業も積極的に進められております。今回受賞された皆さんには起業家やイノベーターを目指し、東北そして日本全体をけん引する存在として、飛躍されることを願っております。

このたびの受賞、誠にありがとうございます。

第18回CVG東北実行委員会 (敬称略)

- | | |
|--|--------------------------|
| 〈委員長〉
阿部 聡 (東北経済連合会副会長・東経連ビジネスセンター会長) | 鎌田 充志 (みやぎ工業会理事長) |
| 〈委員〉
戸邊 千広 (東北経済産業局長) | 梶原 功 (宮城産業人クラブ会長) |
| 浅倉 俊一 (東北ニュービジネス協議会会長) | 松村 英一 (山形産業人クラブ会長) |
| | 百田 昭洋 (福島産業人クラブ会長) |
| | 竹本 祐介 (日刊工業新聞社取締役東日本支社長) |

東北・新潟発のスマート社会が、未来の可能性を広げていく。

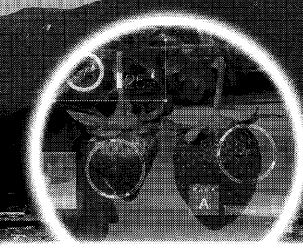
私たち東北電力グループは、東北・新潟への想いを胸に2030年代のスマート社会の実現を目指し、エネルギーと先進のデジタル技術を融合した取り組みに挑戦してまいります。



新たな交通インフラ



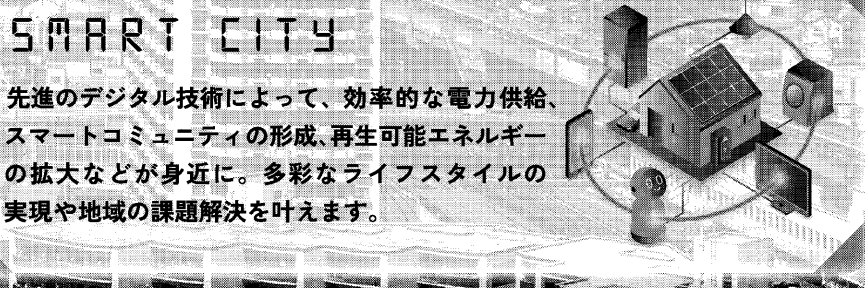
IT(情報技術)で家のエネルギーを最適にコントロール



先端技術を活用した農業



首都圏と地方に拠点を二つ持つ



SMART CITY

先進のデジタル技術によって、効率的な電力供給、スマートコミュニティの形成、再生可能エネルギーの拡大などが身近に。多彩なライフスタイルの実現や地域の課題解決を叶えます。

第18回キャンパスベンチャー



審査講評

18回目の開催となるCVG東北には、22件の意欲あふれる応募がありました。審査を経て選ばれた5件に対し、昨年12月16日、仙台市でプレゼンによる本審査が行われました。前回き

CVG東北審査委員会委員長

蛸名 武雄

問題解決への思い、挑戦する意志伝わる

ました。候補者の気づきに基つく身の回りの問題や、社会問題を解決したいという思い、挑戦する意志が十分に伝わってきました。最優秀賞に選ばれた若手大学の佐藤さんのグループの提案は、若手県民のみなから全国的に遊休農地の増加と農家の高齢化が進んでいることから、ヒール麦（二条大麦）の国産化を目指すものです。社会課題に真つ向から取り組む挑戦的な姿勢や、ブルワリー、農



唯一の高校専攻科生・米沢工業高校は3人グループで臨み、映像をふんだんに盛り込んだプレゼンを展開

地域をつくる紅花と歴史の里



代表の我妻さん

循環型地域コミュニティ社会 創出

2021年2月、山形県の県花である紅花の世界農業遺産認定申請が農林水産省より承認された。県内各地でその機運を盛り上げようと、産地拡大、イベントが行われている中、米沢市でも作付面積が広がっている。その半面、時代とともにニーズが減り、需要は減ってきている。また米沢市で生産に関わる方の9割以上が高齢者であり、今後、紅花生産に携わる人材不足を要因に収穫量の減少も懸念される。私たちは紅花を採取する際、畑にこぼれた種子が発芽し、若菜として成長していることに着目した。現在までその若菜は廃棄されていたが、若菜の販売や若菜と種子を使った食品開発に利用することで新たな分野の雇用が生まれ、地域社会活動の一助となり、「農業」「食品」「福祉」を掛け合わせた「循環型地域コミュニティ社会」を創出できると考えている。

TACHI-NO-VOICE



合意形成の必要性とのジレンマ解消

形成は潜在的な課題として存在し、それが表面的に表れたのが「東日本大震災」の復興過程である。過去に類を見ない津波を引き起こした大災害であったため、地域住民の反対の声がありながらも防潮堤建設を急ぎ、必要以上の高さの防潮堤を建設してしまった地域。このようなことから、合意形成の必要性と時間的プレッシャーのジレンマを解消するために、まちづくりにおける合意形成サポートシステム「TACHI-NO-VOICE」の開発を行った。「TACHI-NO-VOICE」では、議論を進行するファシリテーターがテーマを設定し、参加者が複数回に渡って意見を提示し、意見の拡散・評価を経て、満足度を踏まえた方向性の決定がなされる。

特別賞・日刊工業新聞社賞

宮城大学 齋藤 愛果

もあつた。反対に、合意形成に力を入れた地域でも意見をまとめるために何年もの月日を費やした事例がある。

D-mat（でいーまっと）



代表の佐々木さん

センサーで患者の予測不能事故ゼロに

及という事業を考えた。これにより、患者の予測不能事故をゼロにするという社会の実現を目指す。具体的には①足底のサイズ・形状などにより個人を識別②転倒に結びつく足の滑り・床の離れ方・体重の移動など3軸方向の圧力を正負ともにリアルタイムで検出可能③十分に薄く、下に異素材を挟んでも誤作動が少ない④実用可能な耐久性が十分にある⑤以上の特性を持つ3軸圧力センサーを活用する。これをマット状にして、患者がよつつかむ手すりや家具などに設置することで、通常と異なる異常な手足の滑り、体重移動を検知し、転倒・転落を迅速に発見できる。

第18回CVG東北審査委員会（敬称略）

〈委員長〉	西山 英作（東北経済連合会理事・東経連ビジネスセンターセンター長）
〈委員〉	竹原 秀臣（通研電気工業社長）
	福田 大輔（フクダ物産社長）
	青沼 廣利（みやぎ工業会専務理事事務局長）
	竹本 祐介（日刊工業新聞社取締役東日本支社長）
〈委員〉	
小林 和昭（東北経済産業局地域経済部長）	
齋藤 雅弘（宮城県産業技術総合センター所長）	
蛸名 武雄（産業技術総合研究所東北センター所長）	



限られた時間ながら、審査委員からは学生のプレゼンに対する活発な意見や質問が飛び交った



今回、最終審査に進んだ学生によるプレゼンは例年以上のハイレベルな内容に

地域とつながり、未来へつなげる。

総合設備エンジニアリング企業として、高品質の技術と新しい価値をご提供します。

総合設備エンジニアリング企業

Yurtec

株式会社 ユアテック

<http://www.yurtec.co.jp/>

本社／仙台市宮城野区福岡4丁目1-1 〒983-8622 TEL.022-296-2111

支社／青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島・新潟・北海道・東京・横浜・大阪

東京本部／東京都千代田区大手町2丁目2-1 〒100-0004 TEL.03-3243-7111

※ユアテックは「ユアテックスタジアム仙台」のネーミングライツパートナーです。

頑張る学生を応援しています

CKD

Automation Technology
for the Future



CKD株式会社

本社：愛知県小牧市広時二丁目250番地
東北工場：宮城県黒川郡大衡村松の平二丁目18番

セラミックスで 創造と挑戦を楽しむ

なっとく！

NTK

セラテック

<http://www.ceratech.co.jp>

お問い合わせはお気軽に。
〒981-3692 宮城県仙台市東区明通3-24-1
TEL.022-378-9231 FAX.022-378-9236
電話受付時間：8:30～17:30



NGK NTK
スーパーフラグ ニューセラミック
日本特殊陶業
日本特殊陶業グループ

地域の発展と 技術革新に挑む リーディングカンパニー



株式会社

植松商会

〒984-0015 仙台市若林区卸町三丁目7-5
TEL: (022) 232-5171 FAX: (022) 284-3801
営業所：八戸・宮古・北上・一関・古川・仙台大和・石巻・仙南・福島・白河・横浜

<http://www.uem-net.co.jp/>

宮城から世界へ。 未来を支える 半導体テクノロジー。

半導体をつくる装置をつくる会社

TEL

東京エレクトロン宮城株式会社

宮城県黒川郡大和町テクノヒルズ1番 TEL.022-346-3000

www.tel.co.jp

東京エレクトロン宮城 採用 検索

